

令和 5 年度 第 3 回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 会議録  
(市民協働推進研修報告書)

1 日 時 令和 5 年 9 月 12 日(火) 10:00～12:00

2 講 師 明治大学 政治経済学部 教授 牛山 久仁彦 氏  
(御殿場市市民協働型まちづくりアドバイザー)

3 会 場 御殿場市役所本庁舎 5 階 大会議室

4 参 加 者 40 名

[市民協働型まちづくり推進協議会委員] ※敬称略

花山 勝重、高橋 良子オザナ、勝又 孝文、川村 美穂、立道 佳之、高瀬 宏樹、芹澤  
直己、大石 侑香、尾身 亜矢子、瀬戸 邦昭、大田 雄紀 計 11 名

[庁内市民協働推進員(2022、2023 任命)]

計 25 名

[事務局(市民協働課)]

上原課長、三改木統括、梶、小長井

5 研修内容 (1)座学

「住民と行政の協働」をテーマに、協働の基本的な考え方について講義を受けた。

(2)ワークショップ

市民協働型まちづくりを推進していくための具体的な行動計画を定めた「市民協働型まちづくり推進プラン」において、重点的に取り組む項目の 1 つとしている「市民協働ガイドブックの作成」について、「市民活動や市民協働を市民に知ってもらうこと」をテーマに協議会委員、庁内推進員で小規模のグループを複数つくり、ワークショップ形式で検討した。

6 研修目的 今回、市民協働型まちづくり推進協議会と庁内市民協働推進員との合同研修として市民協働研修会を行った。研修の目的は主に以下の 3 点。

- ・新たに庁内市民協働推進員となった職員が「協働」の基本的な考え方を学ぶこと
- ・協議会委員と庁内市民協働推進員を混ぜて協議することで、双方が異なる立場の視点を学ぶとともに、繋がりをつくること
- ・課題事項となっている「市民協働ガイドブック」について、多様な意見を出していただき、今後の協議会での検討に役立てること

## 7 実施状況



【講師: 明治大学 政治経済学部 牛山 久仁彦 教授】



【座学の様子】



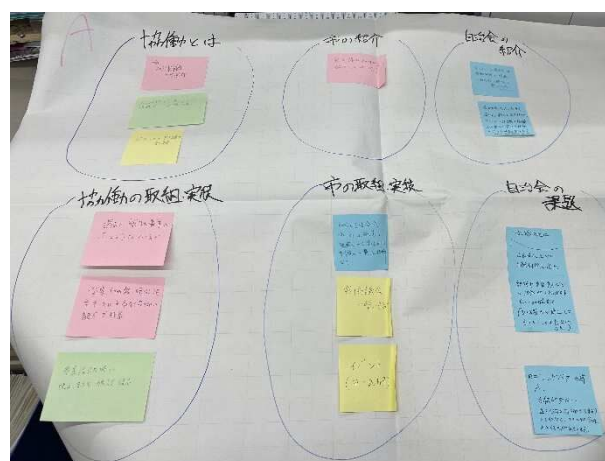
【ワークショップの様子①】



【ワークショップの様子②】



【ワークショップの様子③: 発表】



【ワークショップでの意見まとめ】

※ワークショップでの意見まとめ、及び参加者アンケートの結果は別紙参照